

今後の検討スケジュール

平成22年 12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討事項とスケジュールの確認 ・後発医薬品の薬価に関する事項【検討事項①、②】 (先発医薬品との薬価、収載品目数、薬価の大幅なばらつき) ・内用配合剤の薬価に関する事項【検討事項③】 (配合されている成分が特例引下げを受ける場合の取扱い)
平成23年 6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算方式による算定方法の取扱い【検討事項④】 ・保険医療上必要性の高い医薬品の薬価改定方式 ・薬価調査
7月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価算定組織からの意見聴取 ・新薬創出等加算の検証(1)【検討事項⑥】 ・保険医療上必要性の高い医薬品の薬価改定方式
8月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・業界からの意見聴取
9月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・新薬創出等加算の検証(2)【検討事項⑥】
10月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価算定基準の見直しに当たっての論点検討(～11月中旬)
11月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価制度改革の骨子の検討 ・薬価本調査結果 ・新薬創出等加算の検証(3)【検討事項⑥】
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・業界からの意見聴取 ・薬価制度改革の骨子の取りまとめ
平成24年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「薬価算定基準の見直しについて」(薬価制度改革)取りまとめ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・「薬価算定基準」の中医協了承・通知
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価基準の全面改定告示(4月1日より施行)

○総会での検討・報告:

- ・新薬の処方日数制限については、平成22年10月27日に一定の結論が得られた。【検討事項⑤】
- ・「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高いとされ、国により開発要請された未承認薬等の開発の進捗状況を随時報告している。

次期薬価制度改革に向けて
現在までに検討を行うことが提案されている事項

1. 先発医薬品より高い後発医薬品の取扱いについて【検討事項①】
2. 後発医薬品の収載品目数と薬価の大幅なばらつきについて【検討事項②】
3. 内用配合剤について、配合されている成分が特例引き下げを受ける場合の内用配合剤の取扱いについて【検討事項③】
4. 原価計算方式による算定方法の取扱いについて【検討事項④】
5. 新薬の処方日数制限について【検討事項⑤】
6. 新薬創出・適応外薬解消等促進加算の検証【検討事項⑥】